

昭和25年8月25日



第32號

足立区政ニュース

THE ADACHI KUSEI NEWS

発行
 足立区千住1ノ50
 東京都足立区役所
 足立区長大山雅二
 編輯
 総務課文書係
 浅草0440
 電 足立 { 3111
 3115

夏の特集!!



区立上總湊臨海学園

我れは海の子白波の、さわぐ磯邊の
 松原には、余り緑の少ない足立区の小
 中學校兒童、生徒のために、今年は区
 が千葉縣上總湊に臨海學園を開設し
 て、海を満喫させる機会を作つた、水
 清く遠淺で海水浴には絶好の場所であ
 る、ここに2泊3日の日程で、兒童生
 徒の心身の健康増進と集團生活に對す
 る理解をはかるため区内各小中學校が
 交代で、8月23日まで生活する、な
 お夏期以外は養護學園として虚弱兒童
 のために引續き存置される。

足立区政ニュース 立寫真特集

上總湊臨海学園

日課表

時間	内容
午前 6.30	起床
7.00	清掃作業
8.00	朝食
10.00	海水浴
12.00	晝食
午後 1.00	午睡
2.30	海水浴
4.30	入浴
5.30	身体の異状調査
6.00	夕食
7.00	懇談會又は學科の指導
8.00	就寢

第3日は海水浴は11時で打切り正午學園出發午後0時35分乗車

兩國驛から約2時間半磯臭い涼風に吹かれて房總西線上總湊驛前の廣場に立つと、足立区臨海學園と紫地に白く染め抜いた大きな旗が目につく。その旗の立っている角から左に折れて、細い畑道を行くと、約5分位で、線に包まれた立派な洋風造りの臨海學園正門に着いた。もと東京の某開業醫の別荘であつたという建物の内部はさすがに清潔であり、而も落着きのある趣味で飾



別館

られてある。

本館……玄關を入ると左側の室が区職員事務室、大きなシャンデリヤが下がっている。

その下で椎名主事が、給食のカロリー計算に、餘念がない。「御苦勞さん」と言いながら右手の階段から2階に上ると、びかびかに光つた廊下をはさんで、園長(附添小學校長代表)

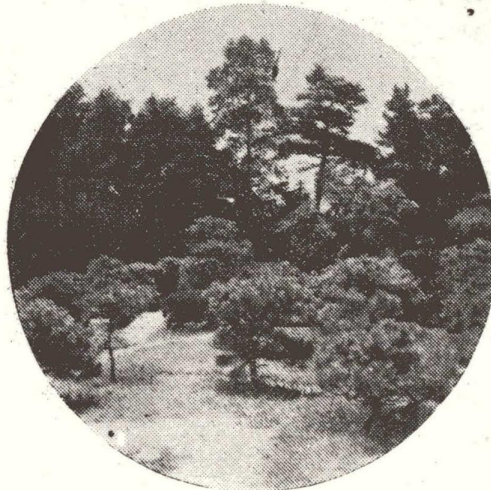
室、職員室、來賓室、保姆使丁室がある、その廊下を通つて裏手の階段を降りた所が宏荘な庭園をのぞむ生徒宿泊室である、前の家主の、のこしていつ



本館

設等を擴充して希望する子供を全部つれてきたい」と言う、教育者の心勞に頭を下げながら別館の方に廻る。

別館……玄關の前が廣い運動場になつている、その一隅に60坪近い苺畑があつて夏の景觀を添える、廣場では、夕食を終つた子供達が、それぞれ持参した浴衣を着てスクエアダンスを踊つている、また日中の照射を受けた埃がさめきらずに熱つぱく地面を這つている中に、子供達が捕えたりしい磯蟹が、ちよろちげよる逃出して、踏みつけられたらしく濡れた儘死んでいるのも臨海學園なるかなを思わせる、別館の中は大教室と居室に



庭園

た蜜蜂の巢が、白い三角屋根を光らせて、緑の芝生においてあり、黄色い蜂が、基地を飛立つ戰鬥機のように舞ひ上り、下りしている庭では、今日の園長である梅島第2小學校長北郷留藏先生が、附添いの先生方と一緒に、木蔭にしつらえられたテーブルを圍んで、日課についての打合せをしている、「失禮ですが」と近ずいて御感想はと聞くと「大いによろしい、

別れていて、夜になると對岸の觀音崎燈台の灯が明滅して、子供心にも旅愁を覚えさせるのか、室の隅でじつとしている子も時々あるとは、一般的な世話をやいてゐる保姆さんの話である、ともあれ、海と山に圍まれた學園にきた子供達が學校にいた時とは全然違つた個性や、創造力を表わしたり、自然に對する驚くべき科學的觀察を下したりするのはたまげたとする附添教員の言を裏付けるように、元氣に遊んでいる子供達をみると、臨海學園開設の有意義を涵みじみと感じるのである。

あと2日、あと1日、待ちに待つてた
臨海學園にとうとうやつてきた。わあ
ー、綺麗なだけー、海の香と、宏荘な
邸園の蟬時雨に単純な歡聲が上る。

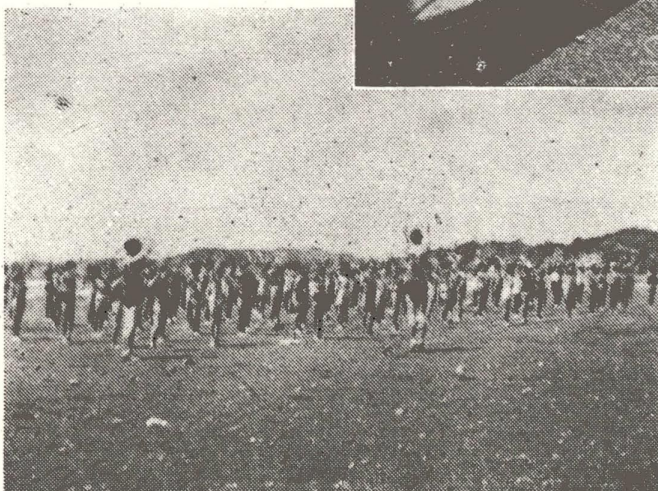


心は海に……それでも園長
さんの注意を、朝禮の時よ
り溫和しくきいている。

さようなら、東京に歸る子を見送る子供達、
見も知らぬ子に、同じ区内に住むという懐し
みから、今朝でてきた家への、素直な郷愁を
こめて手を振る子供達には子供だけの世界が
もつている美しい詩と感傷がある。



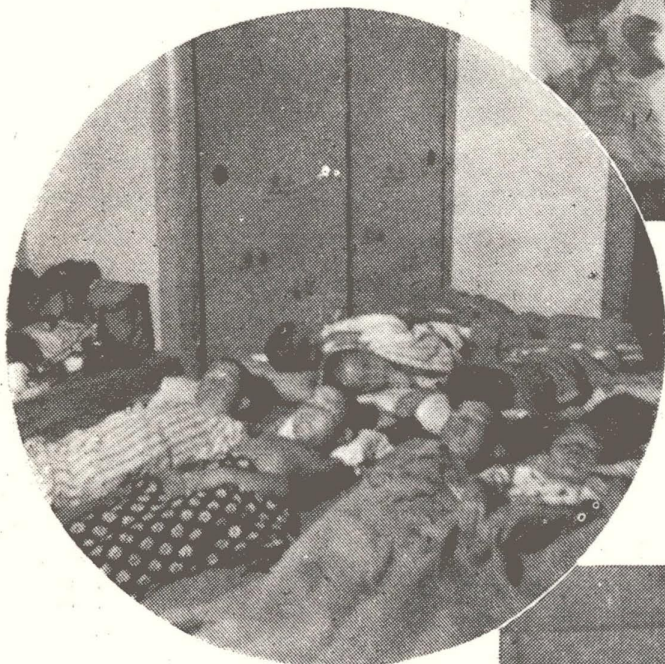
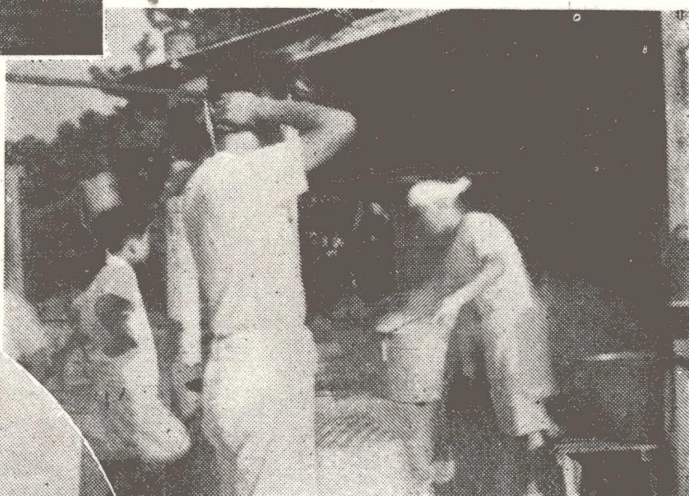
1、2、3ん、4
海へ入る前の準備
体操は専門講師に
よつて充分に行わ
れる。





← うあーしょつばいなー、海の水の塩辛いのが
今更のように嬉しくて、仕方がないらしい。

泳ぎ疲れた子供達の食欲はすごい、職員によ
る精密なカロリー計算に従って土地の新鮮な
魚や卵が、みるみる中に料理される。



← 青、赤、黄、とりどりの毛布にくるまる
と同時にもう健康な寢息が聞える。

今日1日を……寝る前に、家へ便
りするのも、女の子なるかなを思
わせる。

